

(様式4)

事業所名 にこにこハウス

目標達成計画

作成日: 平成28 年 2 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|------------------|------------------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 1 | 事業所の理念の掲示方法 | 全利用者の方の目に入る位置に掲示、来所者の方への周知を図る。 | 車いす利用者の方、目の悪い利用者の方にも読みやすい位置に大きく掲示する。来所者・職員が目にするように玄関にも掲示する。 時々利用者、職員共に理念を読み合わせながら確認を行う。 | 0.5～12ヶ月 |
| 2 | 35 | 災害対策における地域住民との関係 | 災害時の対策として、避難訓練参加者の検討 | 運営推進委員、近隣住民や消防団員に避難訓練に参加していただけるよう考え計画していく。 また、地区消防団・地域の区長さんには理解を深めていただくためのハウス内見学の機会を設ける。ハウスのパンフレットも活用する。 | 12ヶ月 |
| 3 | 4 | 運営推進会議の活かし方 | 運営推進委員と利用者のかかわりを深めたり、会議時の意見を反映させる。 | 運営推進委員には、利用者の方と共に昼食を試食しながら、交流を深めていただく。(2～3回に分けて実施する) 町の担当者、推進委員より他施設でのサービスの情報をいただき、ハウスとして取り入れられるものは計画していく。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。